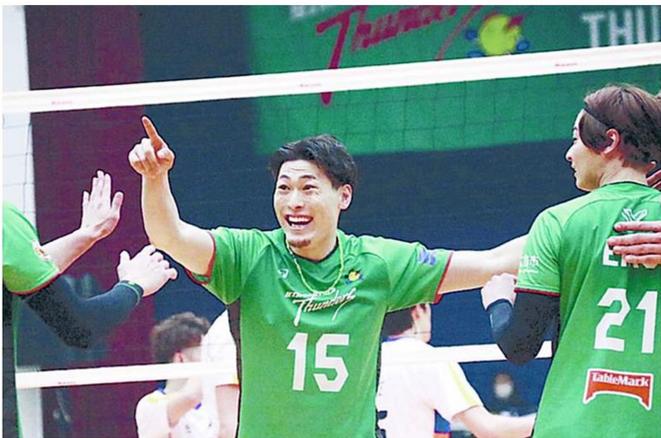


はばたけ 広島サンダース

久原 大輝

18日、呉市で行われた東レアローズ静岡戦。前日に敗れ、新年明けて3連敗という苦しい状況の中で迎えた一戦。この日は、サンダースが先に2セットを奪い、第3セットも26―25とマ



チームメートの得点に
喜ぶ西本選手⑮

(18日)

西本選手 魂のサーブ

ツチポイントを握る。そこでサーブが回ってきたのが、西本圭吾選手だ。

プレー、立ち振る舞い、そして日々の取り組み。すべてでチームに闘魂を注ぎ込む存在である彼は、今季から長年打ち続けてきたフローターサーブから、ジャンプサーブへと挑戦している。変化を恐れず、さらなる成長を求めている決断だった。しかし、思うように打ち切れず、ミスが出る場面も少なくなかった。

11日のサントリー戦直後、彼は一人で体育館に戻り、黙々とサーブを打ち続けていた。試合で出た課題は、その日のうちに解消する。疲労が蓄積する中でも、自分自身と真摯に向き合う姿があった。

迎えた東レ静岡戦のマッチポイント。私は心の中で「彼はサーブエースを狙う」と感じた。放たれた一球は、稲妻のように相手レシーバーを打ち抜き、試合終了。古巣との対戦で、彼の闘志はより一層燃え上がっていたに違いない。サンダース、そして日本バレー界の魂として、これからもコートに熱狂で満たしてほしい。

(広島Tマネジャー)